

2010年(平成22年)10月27日 水曜日

中国・张家界市

副市長、徳大病院を視察



検査機器を視察する张家界市の劉副市長（右から2人目）ら＝徳大病院

徳島觀光と糖尿病検診を組み合わせた医療觀光ツアーへの参加を検討

している中国・湖南省张家界市の劉曙光副市长ら6人が26日、県内の糖

尿病医療の現状を学ぶため来島した。徳島大学病院の検診体制などを視

察した劉副市长は「市の医療関係者を交えて前向きに考えたい」と話した。

劉副市长は、県庁で里見光一郎副知事らと会談。副知事は、9月に张家界で会談した趙小明市長が医療觀光に興味を示したことにつれて、「医療觀光や教育旅行を通じてほしい。徳島阿波おどり空港と张家界を結ぶチ

ヤーター便も就航させたい」と提案した。

劉副市长は、医療觀光ツアーや健康姿勢をみせるとともに、教育旅行についても「子供たちが夏

休みに相互訪問するなどして交流を深めたい」と歓迎。チャーター便で開しては「徳島から张家界市の世界遺産・武陵源地

区を訪れてもらえるなど、観光面で利点がある」と評価した。

徳大病院の視察では、糖尿病臨床・研究開発センターの松久宗英教授らが、受診者の遺伝的背景まで分かる国内有数の糖尿病検診について説明。早期に動脈硬化が発見できる最新の検査機器などを紹介した。